

自衛隊への若者の個人情報（名簿）提供は中止せよ

4/30 日本共産党一宮市委員会ははじめ6団体は、中野正康市長あて「自衛隊への若者の個人情報（名簿）提供の中止を求める申し入れ」を、福井斉副市長に直接手渡しました。申し入れに参加したのは7人。
 申し入れの全文を紹介します。



一宮市長 中野正康様

2026年4月30日

自衛隊への若者の個人情報（名簿）提供の中止を求める申し入れ

一宮市平和委員会	塚本政成	憲法9条を守る一宮市民の会	川瀬ゆか
新日本婦人の会一宮支部	橋本敏枝	一宮みんなの会	佐野正純
一宮ねんきんを良くする会	名和清文	日本共産党一宮市委員会	彦坂和子

貴市の住民福祉向上の行政努力に敬意を表します。
 さて、見出しの件につきまして、貴市は、自衛隊への若者の個人情報（名簿）を、2022年度までは住民基本台帳閲覧で対応してきました。2023年度からは募集対象市民（年度内に18歳になる）の住所、氏名を宛名シールにして、自衛隊に提供しています。

シールが貼られた封筒の中に、自衛官の案内チラシ、合同説明会開催のチラシが若者に届きます。宛名シールで情報提供した数は2023年度3,621件です。

以前に自衛官の募集案内チラシが届いた若者は「自衛隊に求めてもいないのに、本人の承諾もなく自分の個人情報が渡っているのはおかしい。いきなり自衛隊の案内チラシが送られびっくりしました。自衛隊に個人情報を渡すのはやめてほしい。友達もそう言っています」と述べています。

現在、自衛隊は、集団的自衛権の行使容認の安保体制下で、日本の防衛とは無関係な米軍の軍事行動への参加など戦闘訓練を繰り広げ、日本を「戦争する国」へと進もうとしています。こうした極めて危険な任務に就かされようと

している自衛隊に、地方自治体はその勧誘に結び付く情報提供をすることは、市民を、あるいはその家族を戦地へ送り込むことにつながると考えます。「平和を守る、戦争をしない、他国民と協力」という日本国憲法の立場に立つなら、この情報提供は、やめるべきと考えます。

さらに、住民基本台帳法の個人情報、憲法13条「すべて国民は、個人として尊重される」を基に、プライバシー権（自己に関する情報をコントロールする権利）は、基本的人権として確立しています。最高裁判決（2008年3月6日住基ネット事件）でも「住所、氏名、生年月日など個人情報を第三者にみだりに公開されない自由」を認めています。

ですから、貴市の名簿提供は、個人の尊厳を定め憲法に違反する疑い、さらに個人情報保護法違反の疑いが考えられます。

以上のことで、私たちは「若者を戦場に送ることを絶対に許さない」との立場で、下記を強く要望します。

記

一、自衛隊への個人情報（名簿）の提供を中止すること。

以上

副市長に申し入れ書を手渡す前に、副市長と参加者全員で懇談しました。まず彦坂議員が申し入れ全文を読みあげ、副市長に感想を聞きました。副市長は「法律に基づき対応しています。いろいろな意見があることは承知しています。申し入れをいただきましたので、関係者と検討していきたい」と述べました。議員は「奈良、岐阜で高校生自身が裁判をしている、ぜひ検討してほしい」と副市長に要請しました。



市は自衛隊に名簿渡すな 高校生が[違憲・違法]と提訴 岐阜市

3/26 国が自衛官募集のために岐阜市に市民の個人情報を提供しよう依頼し、市がこれに応じたことは違憲・違法だとして、18歳の高校生が国と市を相手に提訴しました。名簿が提出された当事者による提訴は、奈良市での裁判に続いて2件目です。岐阜市は、2023年度から集対象者の氏名住所を自衛隊に提供。原告のともさんには、2025年7月頃自衛隊から勧誘はがきが届きました。弁護団長は「戦前の地方自治体は国の組織として戦争遂行を担ったが、現在は国と地方自治体は対等・平等。一編の通達で名簿を提供させるというやり方は、今の憲法とは整合しない」と訴えました。（平和新聞 4/10号より一部掲載）



一宮で改憲反対サイレントスタンディング実施

5月7日19時30分から20時まで、一宮東口で有志の呼びかけで「改憲反対サイレントスタンディング」が行われました。



参加したかわえ明美さんからのコメントをご紹介します。



夜7時半からの一宮駅東口の改憲反対サイレントスタンディングは、44人が集まっていました。高校生が「戦争はんたーい」と言って激励。アイビルのフリースペースからも「がんばってくださいーい」のエールが。クリスチャンの青年は、「神は戦争をゆるしません」と言って写真を撮っていきました。

みなさん、思いがこもったプラカードをつくり、ペンライトを手に静かに訴えました。

戦争はいや！改憲反対！の気持ちがひとつ

になるなんともハートウォーミングなサイレントスタンディングでした。

あなたの声を生かした県政・市政の実現を



5月12日、午後に千秋町で市民のお宅を訪問し、県政や市政に求めることを伺いました。

物価高騰の影響で暮らしが大変になっていることなどを伺うことができました。

シャトルを読まれた皆さんも、ウェブ回答することができます。下のQRコードからご協力いただければ幸いです。



自衛隊への18歳の名簿提供と除外申請について知らせました

千秋町の中で高校生の帰宅時間に合わせて、今年度18歳になる方の名簿を市が自衛隊に提供している事を知らせ、自衛隊への名簿提供の除外申請が5月29日までできることを知ってもらおうとチラシの配布を行いました。

